



イルカの肺と耳はどこにあるの

肺は胸びれの近くに

イルカは海の中にいますが、人間と同じほ 乳動物 です。クジラの潮ふきほどではありませんが、イルカも肺からはき出した蒸気を、シュパーという音とともに、ふき上げています。イルカは、ひと呼吸で、肺の中の空気の8～9割を、入れかえることができるほどで、人間の肺に比べて効率がよくできています。ですから、イルカの呼吸数は、1分間で2回ほどですみ、数分以上もぐった後でも、すぐ、呼吸をととのえることができます。けれど、イルカの肺の大きさは、体重 に対する割合でいうと人間と同じか、2分の1くらいです。

耳のあなは小さいけれど、超高性能に音をとらえる

イルカのつき出たおでこの中には、超音波を 発射するような役目の、メロンという器官が入っています。イルカは「鼻くう」でつくり出した超音波を、メロンで四方に発射し、それが、いろいろな物にぶつかってはね返る反射音を耳で聞いて、すばやく行動しています。イルカの耳は小さいあなだけなので、外からは見つけにくいでしょう。耳は目の後方で、ろっこつに囲まれた中にあります。

でも、耳の中のしくみは、高性能にできています。音は水の中ではよく伝わり、体の表面からも、じかに耳の中に伝わるため、音を 集める役目をする耳たぶは必要ないのです。

(監修・今泉 忠明)

